

2020年7月6日～2021年3月31日の間に 当科または小児科において、ビジネス渡航者に向けた新型コロナウイルス PCR検査外来を受診された方へ

—「当院における渡航用新型コロナウイルス PCR 検査外来受診者の特徴」へのご協力のお
願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学公衆衛生学	講師	依田 健志
研究分担者	川崎医科大学小児科学	教授	尾内 一信
	川崎医科大学小児科学	准教授	大石 智洋
	川崎医科大学健康管理学	准教授	藤本 壮八
	川崎医科大学小児科学	講師	加藤 敦

1. 研究の概要

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は未だに世界中で流行しておりますが、ビジネスを中心に国際的な移動が少しずつ開始されつつあります。海外渡航にあたり、ほとんどの国で COVID-19 の陰性証明が必要とされている中、当院では 2020 年 7 月 6 日から渡航者用として COVID-19 の PCR 検査ならびに陰性証明を行う専門外来を立ち上げました。このような外来は中四国地方では数か所しかなく、外来を受診された皆様の情報は、中四国地域の現状を大きく反映するものと考えられます。そこで、今後の需要予測や対応等に役立てるため外来を受診された皆様の情報を個人が特定できない形で統計的に研究することにしました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020 年 7 月 6 日～2021 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院においてビジネス渡航者に向けた新型コロナウイルス PCR 検査外来を受診された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2021 年 8 月 31 日

3) 研究方法

2020 年 7 月 6 日～2021 年 3 月 31 日の間に当院においてビジネス渡航者に向けた新型コロナウイルス PCR 検査外来を受診された方で、研究者が診療情報をもとに性別、年齢、居住地 (市区町村)、職種、渡航予定国、滞在期間等のデータを集計解析し、受診された方々の特徴について調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：性別、年齢、居住地 (市区町村)、職種、渡航予定国、滞在期間、カルテ番号 等

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学公衆衛生学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年6月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 健康診断センター

氏名：依田 健志

電話：086-462-1111 内線 44559（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-462-1199

E-mail：tyoda@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。